※令和４年度以降入学生用

学校番号	408

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「新論理国語」　（三省堂）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、その考えを他者に伝える活動を行います。
・様々な評論や学術的な文章を読んで、言葉によって論理的に考える力と、他者に自らの考えを伝えることができるような書く力を身につけてもらいます。
・定期的に課題を課しますので、手を抜かずに取り組んでください。
・授業中のノートについては、板書を書き写すだけでなく、先生の説明や他の生徒の発言を聞いて重要だと思ったことを積極的にメモしましょう。
・自分の意見を説明したり、他者の意見を聞いたりする機会をつくります。そのときは積極的な意見交換をし自分の考えを深めていきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を以下の通り育成する。
（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、その特質を理解し適切に使えるようになる。
（２）論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で、他者を理解し自らの考えを伝え合う力を高める。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって自己の言葉の力を向上させ、言語文化の担い手としてその能力を磨こうとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活で必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的、批判的に考えるとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	論点を整理する ［教材］ 「自分を捉え直す」	a：論理的な文章の理解に必要な語彙を十分に備えている。 b[読]：文章の展開を正確にとらえ、要旨を把握している。 c：要旨を正確に把握して自ら進んで理解し、自身の考えを深めている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	正しく推論する ［教材］ 「一人で爆笑」	a：言葉に対する意識を持ち、文章の根拠をとらえる大切さについて理解している。 b[読]：論理的な文章の構成を理解し、自らの考えをさらに深めている。 c：課題に応じて自らの考えを深め、理解を広げようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	事例の意味を探る ［教材］ 「それぞれのしっくりくる言葉」	a：事例の挙げ方、順序の重要さについて理解している。 b[書]：自らの伝えたいことを、具体的な事例を用い、構成を考慮して、効果的な文章にしている。 c：自らの考えが的確に伝わるよう、文章に工夫をしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
2学期	信頼性を吟味する ［教材］ 「なぜ私たちは労働するのか」	a：論理的な文章の読解に必要な語彙と表現技法を理解している。 b[読]：文章の信頼性や説得力が、その構成や適切な例示によるものだと理解している。 c：説得力のある文章を書くために、必要な技術や方法を身につけようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	隠れた前提を探す ［教材］ 「地球上の「旅人」」	a：自らの意図を表現できる語彙と表現技法を理解している。 b[書]：意図することが読み手に伝わるよう、表現を工夫し、構成を熟慮して書いている。 c：読み手を意識して文章をつくろうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	具体と抽象の関係 ［教材］ 「人類による環境への影響」	a：論理的な文章の読解に必要な語彙と表現技法を理解している。 b[読]：論旨を正確にとらえ、妥当性を吟味し自らの考えを持つ。 c：論理的に理解し、考え、自らの意見をまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	批評する ［教材］ 〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀	a：批評に必要な知識や表現方法を理解している。 b[書]：自らの考えを相対化して、より説得力のある文章を書くための内容や手法を考え、実際に書くことができる。 c：読み手を説得できるよう、工夫した文章をつくろうとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
3学期	自分の解釈を形成する ［教材］ 「「知る」ということ」	a：文章を深く理解するための語彙や表現技法を理解している。 b[読]：正確に内容をとらえ、読解のみに終わらず、その内容を基にして自らの考えを展開することができる。 c：論理的に考え、自らの意見をより深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	解釈を広げたり深めたりする ［教材］ 「科学には限界があるか」	a：取り組む問題に必要となる知識や語彙を集め、理解している。 b[書]：身近な問題のみならず、種々の一般的な問題にも自らの考えを持ち、的確に表現した文章をつくることができる。 c：自ら調べ、考え、より読み手に伝わる文章をつくるための試行錯誤を重ねようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　４５　）時間